

論理表現Ⅲ（必修）	単位数	2	70時間
-----------	-----	---	------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は次の通り。 ア 与えられた話題について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。
使用教科書・副教材等	【論表Ⅲ】 <i>FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ</i>（桐原書店） 【文法語法】 <i>Vintage</i> 英文法・語法問題（いっずな書店） <i>Earthrise English Grammar in 24 stage</i>（数研出版） 【リスニング】 <i>Hyper Listening Pre-Advanced</i>（桐原書店）

2. 学習計画および評価方法

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い
第1学期	<i>FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ</i>	4	(1 st Stage)Unit 1~5
	<i>Vintage</i> 英文法・語法問題（いっずな書店）	5	与えられたテーマに関する表現活動を行う。
	<i>Earthrise English Grammar in 24 stage</i> （数研出版）	6	文法・語法・イディオムについて、入試問題の主流となっている問題形式を中心に、実践的な問題演習を随時行い理解する。
	リスニングと速読演習を交互に行う	7	英作文の演習を通し、自分の考えを相手に伝えられるようにする。
	[課題・提出物等] 課題帳、ノート [テスト範囲] 中間テスト 授業で扱った内容＋各教材で指定する範囲（その都度、発表する） 期末テスト 授業で扱った内容＋各教材で指定する範囲（その都度、発表する） [第1学期の評価方法] 【知識・技能】 主に評価問題（定期テスト）・小テストにより評価 【思考・判断・表現】 主に評価問題（定期テスト）・小テスト・提出物・発表活動により評価 【主体的に学習に取り組む態度】 主にレポート・提出物・生徒による自己評価・相互評価により評価 【各学期の評価方法】 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を50%：30%：20%の割合で総括して、10段階評定とする。		

第2学期	FACTBOOK English Logic and Expression III	7	(2nd Stage) Unit 6~10
	Vintage 英文法・語法問題 (いわずな書店)	8	
	Earthrise English Grammar in 24 stage (数研出版)	9	
		10	
	リスニングと速読演習を交互に行う	11	
	[課題・提出物等] 課題帳、ノート		
	[テスト範囲] 中間テスト 授業で扱った内容＋各教材で指定する範囲（その都度、発表する） 期末テスト 授業で扱った内容＋各教材で指定する範囲（その都度、発表する）		
	[第2学期の評価方法] 第1学期、第2学期と同様に評価する		
第3学期	共通テスト対策 二次・私大対策	12 1 2	総合問題演習
	[課題・提出物等] なし		
	[テスト範囲] 期末テスト 大学入試と時期が重なるため、実施しない。		
	[第3学期の評価方法] 第1学期、第2学期と同様に評価する		
	[年間の学習状況の評価方法] 【知識・技能】 主に評価問題（定期テスト）・小テストにより評価 【思考・判断・表現】 主に評価問題（定期テスト）・小テスト・提出物・発表活動により評価 【主体的に学習に取り組む態度】 主にレポート・提出物・生徒による自己評価・相互評価により評価 【各学期の評価方法】 【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】をそれぞれ数値化し、各観点を 50%：30%：20%の割合で総括して、10段階評定とする。		
【確かな学力を身につけるためのアドバイス】 1・2年で表現のための基礎事項は一通り終わったので、3年次ではその深い理解と定着が求められる。その為には、自ら分からないところは参考書で確認し、理解したら次にはそれを声に出して定着させる。自分で理解できないところは、すぐに先生方に質問に来るようにする。重要なポイントはノートにまとめるようにする。そのノートに質問すべき事も書いておくと、聞きながら記入もでき分かりやすい。文法問題は理解したら、何回も繰り返し覚えるまで問題をやることが必須だ。すべての教材は入試に直結しているので時間を有効に使って覚えること。ぼろぼろになるまで教材に親しむしかない。			
【授業を受けるに当たって守ってほしい事項】 必要な学習の道具を忘れない。辞書は言われなくてもすぐひくこと。予習をすることが大前提。1つでも授業内で覚える努力をすること。			